



「3 年 経 営 計 画」 について

当社は平成21年度を初年度とする「3年経営計画」を策定いたしました。

年次目標として、

- 1年目(平成21年度) ; 各施策(設備・開発投資・経営効率化)を着実に進める期間
- ▶● 2年目(平成22年度) ; 飛躍に向けた環境を整える期間
- ▶● 3年目(平成23年度) ; 成果・実績を具体的に上げる期間

と位置付けております。

最終年度である平成23年度において、

売上高 510億円

経常利益 17億円

を達成することを目標としております。

1. 主要課題

当社は、「利益率の改善」と「業務の効率化」を主要な課題として捉え、

これらの課題を克服するため、以下の施策を実施し、売上増と利益率の改善を進めます。

2. 「3年経営計画」期間中の施策

1) 農薬事業

- ▶ 農薬新剤を積極的に市場投入し、売上高の拡大と利益水準の改善を図ります。具体的には、水稲用一発処理除草剤「エーワン」・「ロングキック」、園芸用殺菌剤「アフエット」、野菜用殺虫剤「プレバソン」、果樹・茶用殺虫剤「サムコル」、非選択性茎葉処理除草剤「ザクサ」などの販売を平成21年後半から平成22年にかけて開始します。
- ▶ 新規独自原体の創製に注力します。特に、独自創製した水稲用除草剤「HOK-201」の開発を促進し、平成23年度までに登録申請を完了します。

2) 農薬以外のファインケミカル事業

- ▶ 生産力増強と高度な新製品に対応可能な、生産施設の導入を行います。
- ▶ 新たな生産施設の導入により生産効率を高め、収益性の改善を図ります。

生産施設	竣工	投資額
張家港北興化工有限公司新プラント	平成21年6月	約16億円
岡山工場新プラント(合成第8工場)	平成21年12月	約27億円

- ▶ 研究開発に注力し、主に電子材料や医農薬中間体等の分野で、新製品の商品化を進めます。

3) その他

- ▶ 新規事業への取り組みとして、バイオテクノロジー技術を用いて、微生物や植物の物質生産機能を利用した有用化合物の生産等の研究を実施し、健康産業他での商品開発を加速します。